



藤岡市

第91号

議会だより

6月定例会の
あちまし

定例会は、6月11日から6月24日までの14日間の会期で開催されました。

監査委員の選任についてなど33議案が提出されました。

◇11日〇本会議 会期の決定。
市長提出議案28件を上程、
即決。

◇19日〇本会議 一般質問。

◇22日〇本会議 一般質問。

◇24日〇本会議

●発行日 令和2年8月15日 ●発行 藤岡市議会 ●編集 藤岡市議会だより編集委員会 ●藤岡市議会ホームページ <http://fujioaka.gjiroku.com/>
●〒375-8601 群馬県藤岡市中栗須327番地 ☎0274(40)2377 ㊟0274(22)5329 ●印刷 イシイ印刷株式会社

正・副議長決まる

5月臨時会において正・副議長が決まりました。



副議長
丸山 保



議長
松村 晋之

就任ごあいさつ

市民の皆様にとり、就任のご挨拶を申し上げます。

市議会の活動につきましては、日頃より市民の皆様方には、深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、令和2年第2回藤岡市議会臨時会におきまして、議員各位のご推挙により、私どもが議長・副議長の要職に就くことになりました。今、改めてその重責と使命の重大さを痛感しているところであります。

現在、新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、市民の皆様におかれましては、感染拡大防止のため教育、経済、そして福祉をはじめ日常生活

のあらゆる場面で、自粛、あるいは縮小するなどのご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。また、医療関係者をはじめ、ご尽力いただいております。すべての皆様に心より御礼を申し上げます。

二元代表制の一翼を担う市議会としては、市長をはじめとする執行機関と真摯な議論を重ね、行政のチェック機能はもとより、意思決定機関としての責務の重さを認識し、市民の皆様と共に、より住みやすい豊かな藤岡市実現のため、誠心誠意努めてまいりたいと考えています。

なにとぞ、市民の皆様のご指導とご支援をお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

新型コロナウイルス感染症に係る市議会の取り組み

議会から執行部へ提言書を提出

令和2年度における各常任委員会及び議会運営委員会の行政視察旅費（他自治体の先進事例等を直接調査・把握するための旅費）509万円を全額減額し、新型コロナウイルス対策支援施策の財源の一部に充ててもらおうように、令和2年5月28日に「提言書」として議長から市長に手渡しました。



議会運営における感染拡大防止対策

- 5月臨時会及び6月定例会は、次の対策を講じながら実施しました。
- ・出席者及び傍聴者はマスクの着用。
 - ・議場出入口及び傍聴受付場所に消毒液の設置。
 - ・適宜換気を行う。
 - ・演壇にクリアボードを設置。
 - ・一般質問の持ち時間を60分から45分（質問及び答弁を含む）に変更。
 - ・傍聴者に対し、非接触型体温計による検温と健康チェック表の記入。

議案等審議結果〈5月臨時会〉

| 番 号 | 件 名 | 結 果 |
|---------|--|---------|
| 市長提出議案 | | |
| 報告 3 号 | 専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて） | 報 告 |
| 報告 4 号 | 専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて） | 報 告 |
| 報告 5 号 | 専決処分の承認を求めることについて（藤岡市税条例等の一部を改正する条例） | 承 認（全員） |
| 報告 6 号 | 専決処分の承認を求めることについて（藤岡市都市計画税条例等の一部を改正する条例） | 承 認（全員） |
| 報告 7 号 | 専決処分の承認を求めることについて（藤岡市国民健康保険税条例の一部を改正する条例） | 承 認（全員） |
| 報告 8 号 | 専決処分の承認を求めることについて（藤岡市国民健康保険条例の一部を改正する条例） | 承 認（多数） |
| 報告 9 号 | 専決処分の承認を求めることについて（令和元年度藤岡市一般会計補正予算（第9号）） | 承 認（全員） |
| 報告 10 号 | 専決処分の承認を求めることについて（令和元年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）） | 承 認（全員） |
| 報告 11 号 | 専決処分の承認を求めることについて（令和2年度藤岡市一般会計補正予算（第1号）） | 承 認（全員） |
| 報告 12 号 | 専決処分の承認を求めることについて（令和2年度藤岡市一般会計補正予算（第2号）） | 承 認（全員） |
| 報告 13 号 | 専決処分の承認を求めることについて（令和2年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）） | 承 認（全員） |
| 選挙、選任 | | |
| | 議長の選挙 | 松村 晋之 |
| | 副議長の選挙 | 丸山 保 |
| | 経済建設常任委員会委員長の互選 | 針谷 賢一 |
| | 経済建設常任委員会副委員長の互選 | 野口 靖 |
| | 教務厚生常任委員会副委員長の互選 | 内田裕美子 |
| | 議会運営委員会委員の補欠選任 | 青木 貴俊 |
| | | 当 選 |
| | | 当 選 |
| | | 当 選 |
| | | 当 選 |
| | | 当 選 |
| | | 選 任 |

議案等審議結果〈6月定例会〉

| 番 号 | 件 名 | 結 果 |
|---------|---|----------|
| 市長提出議案 | | |
| 報告 14 号 | 令和元年度藤岡市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について | 報 告 |
| 報告 15 号 | 専決処分の承認を求めることについて（令和2年度藤岡市一般会計補正予算（第3号）） | 承 認（全員） |
| 報告 16 号 | 専決処分の承認を求めることについて（令和2年度藤岡市一般会計補正予算（第4号）） | 承 認（全員） |
| 諮問 1 号 | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて | 異議なし（全員） |
| 諮問 2 号 | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて | 異議なし（全員） |
| 第 4 5 号 | 監査委員の選任について | 同 意（全員） |
| 第 4 6 号 | 固定資産評価審査委員会委員の選任について | 同 意（全員） |
| 第 4 7 号 | 藤岡市農業委員会の委員の任命について | 同 意（全員） |
| 第 4 8 号 | 藤岡市農業委員会の委員の任命について | 同 意（全員） |
| 第 4 9 号 | 藤岡市農業委員会の委員の任命について | 同 意（全員） |
| 第 5 0 号 | 藤岡市農業委員会の委員の任命について | 同 意（全員） |
| 第 5 1 号 | 藤岡市農業委員会の委員の任命について | 同 意（全員） |
| 第 5 2 号 | 藤岡市農業委員会の委員の任命について | 同 意（全員） |
| 第 5 3 号 | 藤岡市農業委員会の委員の任命について | 同 意（全員） |
| 第 5 4 号 | 藤岡市農業委員会の委員の任命について | 同 意（全員） |
| 第 5 5 号 | 藤岡市農業委員会の委員の任命について | 同 意（全員） |
| 第 5 6 号 | 藤岡市農業委員会の委員の任命について | 同 意（全員） |
| 第 5 7 号 | 藤岡市農業委員会の委員の任命について | 同 意（全員） |
| 第 5 8 号 | 藤岡市農業委員会の委員の任命について | 同 意（全員） |
| 第 5 9 号 | 藤岡市農業委員会の委員の任命について | 同 意（全員） |
| 第 6 0 号 | 藤岡市農業委員会の委員の任命について | 同 意（全員） |
| 第 6 1 号 | 藤岡市証明等手数料条例の一部改正について | 可 決（全員） |
| 第 6 2 号 | 藤岡市税条例の一部改正について | 可 決（全員） |
| 第 6 3 号 | 藤岡市都市計画税条例の一部を改正する条例の一部改正について | 可 決（全員） |
| 第 6 4 号 | 藤岡市国民健康保険税条例の一部改正について | 可 決（全員） |
| 第 6 5 号 | 藤岡市介護保険条例の一部改正について | 可 決（全員） |
| 第 6 6 号 | 藤岡市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について | 可 決（全員） |
| 第 6 7 号 | 藤岡市都市の低炭素化の促進に関する法律関係手数料条例の一部改正について | 可 決（全員） |
| 第 6 8 号 | 藤岡市建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律関係手数料条例の一部改正について | 可 決（全員） |
| 第 6 9 号 | 藤岡市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について | 可 決（全員） |
| 第 7 0 号 | 多野藤岡広域市町村圏振興整備組合の規約変更に関する協議について | 可 決（全員） |
| 第 7 1 号 | 工事請負契約の締結について | 可 決（多数） |
| 第 7 2 号 | 字の区域の変更について | 可 決（全員） |
| 選挙 | | |
| 第 3 号 | 多野藤岡医療事務市町村組合議会議員の補欠選挙 | 松村 晋之 |
| 第 4 号 | 多野藤岡広域市町村圏振興整備組合議会議員の補欠選挙 | 野口 靖 |
| 第 5 号 | 群馬県後期高齢者医療広域連合議会議員の補欠選挙 | 松村 晋之 |
| | | 当 選 |
| | | 当 選 |
| | | 当 選 |

令和元年度 藤岡市議会基本条例推進委員会 協議結果報告

議会基本条例は、地方議会の運営をどのように行うのかを定めた条例であり、市議会の最高規範となる条例です。すべての議会活動は、この条例をもとに行うことになっています。

議会基本条例推進委員会では、この条例で定めている基本的な理念及び事項を実現するための取り組みや議会改革に関する事項等を検討しています。

令和元年度には、会議を6回開催し、検討事項6項目について協議してきました。

次のとおり、協議結果をまとめましたので報告します。

| 検 討 事 項 | | 協 議 結 果 | 継 続 また は 実 施 日 |
|---------|--------------------------------|--|-------------------|
| ① | 改選後の正副議長任期について | 現在は慣例で1年となっているが、何か不都合なことが生じた際に再協議することに決定した。 なお、次期に申し送る際、1年という意見、2年という意見、4年という意見があったことを申し添える。 | 協議完了 |
| ② | 議会広報の充実について | フェイスブック、ツイッター等を用いた情報提供については、ふじおかほっとメール等の登録者数が増えて、SNSでの発信を望む声が大きくなってきた頃を見計らって、再協議することに決定した。 | 協議完了 |
| | | 議会だよりについては、議会だより編集委員会にて現在の紙面の分析等を行いながら、次年度以降も引き続き協議していくことに決定した。 | 令和2年度へ継続 |
| | | 議会ホームページに政務活動費収支報告書の写し（令和元年度分から）を公開することに決定した。 | 令和2年5月上旬頃 実施予定 |
| ③ | 災害時の議会对応について | 議会内部のルールを明文化し、内規等を作成する必要があることから、自治体規模に似合った仕組みづくりを次年度以降も引き続き協議していくことに決定した。 | 令和2年度へ継続 |
| ※ ④ | 議員報酬及び政務活動費の見直しについて | 議員報酬については、平成19年に5%削減したが、削減する前の額に戻す案を、政務活動費については、月額2万円とする案をそれぞれ報酬審議会で審議してもらうよう、市長に報酬審議会の開催を要望することに決定した。 | 協議完了 |
| ⑤ | 議会音響設備の改修に伴う押しボタン式の採決方法の導入について | 音響設備改修に伴いマイクを更新することにより、機能は標準で付いてくることから、会議で押しボタン式の採決方法を導入することについては、実施の時期及び関係例規の整備等も含めて、次年度以降も引き続き協議していくことに決定した。 | 令和2年度へ継続 |
| ⑥ | 一般質問の提出方法について | 提出については招集告示日の午前8時半から受付を開始することとなっているが、受付開始時刻前に提出を待っていた議員が議会事務局前に複数いる場合は、くじ引きにおいて質問順位を決めることに決定した。 | 令和元年12月議会 から実施 |

※令和元年12月11日に全員協議会を開催し、藤岡市議員報酬等審議会へ諮問することが全会一致で承認され、同日、議長名で市長宛に文書で依頼しました。

GIGAスクール構想について

吉田 達哉

問 新型コロナウイルスの感染拡大により学校が閉校される中、5月の臨時市議会においてリモート授業の提案をしたところ、国の構想とはいえ6月に事業実施に向けた補正予算が計上されたことは非常に喜ばしいことです。文部科学省が推奨するGIGAスクール構想の概要について伺います。

答 GIGAスクール構想とは、児童・生徒1人に1台、学習に必要な端末を整備し、通信ネットワーク環境を整備する計画のことです。この構想は、Society 5.0時代を生きていく子どもたちに必要な情報活用能力を育成することや、一人一人の個性に合わせた個別最適化された教育の実現を目的としています。また、この構想は、災害や感染症等による臨時休業等緊急時の対応として、子どもたちの学びを保障する一面も持ち合わせています。

整備完了後に再び今回のような臨時休業になった際には、活用方法を工夫し、児童・生徒の学びを保障していきます。

問 通信環境を整えるために各家庭へWi-Fiルーター等の貸出しを考えているか伺います。

答 1人1台端末の配備ができた段階で、Wi-Fi環境の整っていない世帯を対象にWi-Fiルーターの貸出しを検討しています。

問 第2波や季節性のインフルエンザ等、臨時休業が長期にわたった場合、学校と家庭をオンラインでつなぐことで、授業等ができるのか伺います。

答 臨時休業等が長期にわたった場合、児童・生徒たちの健康状態や精神状態を第一に把握する必要があります。1人1台端末の整備や家庭での通信環境の早期整備を進めて、テレビ会議システムや授業支援ツールを使って学校と家庭をつな

ぐことで、健康状態の把握や、学習支援を行うことができますようになるかと考えています。



新型コロナウイルス感染症対策と経済活動の両立について

小西 貴子

問 コロナ不況は人災とも言われています。外出自粛移動の自粛、休業要請、三密と、感染を恐れるあまりに自由な経済活動を長期間止めれば、結果大変なことになるかもしれません。いま必要なのは知恵を絞って、感染対策と経済活動の両立を成し遂げることだと考え

ます。
本市の新型コロナウイルス対策費は、特別定額給付金と国県補助金を除くと約8億円で、その財源は財政調整基金、いわゆる貯金の取り崩しから充てられています。市民を想う熱意はありがたいと思うもの、もう少し抑えることは出来なかつたのかと疑問を感じざるを得ません。それは、今後の不測の事態及び更なる第2波、第3波等で、ますます費用が必要になると予測されるからです。

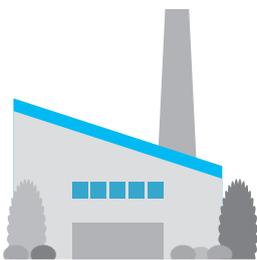
答 年度の始まったばかりですので、今現在、組み替えをすることは難しいと考えています。今後、基本的には今までと同じように財政調整基金、また補助金等を十分に活用し、増額補正することで対応させていただきます。

問 現在の国際情勢によると、優良企業の工場が続々と国内回帰をしてくると思われませんが、本市経済対策の目玉となるような企業を誘致することについて見解を伺います。

答 本市への影響や貢献度の高い企業を誘致できるよう群馬県企業局へ働きかけていきたいと思っています。

問 今後の第2波、第3波を見越して、今年度予算の組み替え、再度の補正が必要

です。



新型コロナウイルス感染症対策について

内田 裕美子

問 長い休校中に、大人が思う以上に、児童・生徒は

様々なストレスや不安を抱えているはずですが、家庭でも子ども様子を観察していくことは当然のことですが、学校においても、いち早く児童・生徒の異変に気づき、SOSの兆候を決して見逃さず、気になる児童・生徒には、早急に話を聞くなどの心のケアが急務です。どのように対応していくのが伺います。

の事情で教室に入れず不登校になってしまっている児童・生徒への、オンラインを活用した対応について伺います。

答 今後、オンライン学習等の指導の可能性を探りながら、学習の遅れを補ったり、進路選択の際に不利益になつたりしないような支援策を検討します。

問 小・中学校の再開に当たり、市長等による小学校全11校の登下校の見守りをしていただく中で、市長自ら気がついた点について伺います。

答 小・中学校の再開に当たり、市長等による小学校全11校の登下校の見守りをしていただく中で、市長自ら気がついた点について伺います。

問 常にアンテナを高くしながら児童・生徒を観察するのはもちろんのこと、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の校内の専門スタッフによる支援を行うなど、きめ細かな対応を行います。

答 グリーンベルトや横断歩道の剥離、樹木が生い茂り死角になっているようなところが見受けられました。今年度中に、通学路の安全対策を講じていきます。

問 GIGAスクールを年内に前倒しをして、1人1台のタブレットを導入できると、オンライン授業ができる環境が整います。何らか

答 約4か月間にわたる昼食費の負担は、子育て世帯にとって経済的、精神的にも相当な負担となっていました。今後、3か月程度、ふるさと納税などを活用し、

給食費を免除できないか伺います。

答 6月の1週目から3週目の給食費について、保護者負担を無料といたします。



感染症の予防接種について

窪田 行隆

問 子宮頸がんはウイルス感染症が原因のがんで、国内で毎年1万人以上の女性が亡くなり、約3000人が亡くなっています。ワクチン接種で予防可能ですが、接種の副反応で多様な症状がでたとの訴えから、国は積極的勧奨を差し控えています。その後、問題の症状は国の副反応検討部会で、ワ

答 子宮頸がんはウイルス感染症が原因のがんで、国内で毎年1万人以上の女性が亡くなり、約3000人が亡くなっています。ワクチン接種で予防可能ですが、接種の副反応で多様な症状がでたとの訴えから、国は積極的勧奨を差し控えています。その後、問題の症状は国の副反応検討部会で、ワ

クチンとの直接的な因果関係が否定されています。予防を進めるために、個別通知による情報提供が必要と考えます。少なくとも対象の最後の年である高校1年生の女子に対して、接種の可否を判断するための情報とともに、助成期間が終了する旨の通知を行うべきと思いますが、考えを伺います。

問 小児がんなどの治療で骨髄移植や、抗がん剤を用いての化学療法や放射線治療を受けると、以前受けた予防接種で得た免疫が消失することがあります。感染症によって治療の支障となるので、再接種が必要です。再接種は自費となり経済的、精神的負担が大きいため、医師の判断がある場合は、その費用に対して補助すべきと思いますが、考えを伺います。

答 高校1年生の女子に対して、情報提供と助成期間が終了となる旨の通知発送について検討していきたいと考えます。

問 台風が来ると、避難所での新型コロナウイルスの感染防止対策が必要ですが、国はその一つとして段ボールベッドを推奨しています。購入して備蓄する必要は無く、製造業者等との協定で、発災後の要請でも3日で届きます。本市も段ボールベッドなど段ボール製品の災害時供給協定を業者等と結ぶべきと思いますが、考えを伺います。

避難所の感染防止対策について

答 保護者の負担を軽減するため、再接種への補助に向けて調査し、実施に向けて検討したいと考えています。

答 物資供給に関し協定を締結すべく、今後調整していきたいと考えています。



新型コロナウイルス感染症の影響と対策について

中澤 秀平

問 市内のPCR検査を受けた方の人数、発熱の症状などの相談件数を伺います。

答 PCR検査の県内の検査件数は、県ホームページで公開されており、6月10日現在の累計数は4158件です。

藤岡保健福祉事務所によると、管内での検査数は5月末現在で累計150件でした。この件数には藤岡市及び多野郡内に住所を有しない方も含まれています。また、6月10日現在の発熱センター受診者数は6人です。

問 市民のほとんどが検査を受けておらず、状況はほとんど分かっていないため、多くの市民が不安を感じています。特に障がい者、子ども、お年寄りなどの介護や保育に関わる福祉施設では、利用者の安全と施設の運営維持のために職員は極

度の緊張感を持って業務に当たっていますが、「3密」にならざるを得ない職場です。

職員・利用者の安全を確保するため、こうした職場でのPCR検査を徹底する考えがあるか伺います。

答 PCR検査は感染リスクの高い方などが全て受けられる体制にはなっていません。国の方針では、検査体制の拡充のため、検査ができる地域外来・検査センターの設置を進めています。市としては、今後の感染の流行状況により県と協議して検討していきたいと考えます。

問 感染の広がり調べる抗体検査の実施について伺います。

答 抗体検査は過去に新型コロナウイルスに感染したかどうかを見る指標の一つとして行うもので、目的は地域の集団で抗体を保有する方の割合を把握するものです。

国内で流通している検査

キットは法的・精度に課題があり、診断目的での利用は推奨されていません。現状では市民に対しての抗体検査の導入は予定していません。



新型コロナウイルス感染症対策について

湯井 廣志

問 我々市議会は、行政視察費509万円をコロナ対策費に充ててもらおうと、自ら身を切りました。国会議員、全国の知事、多くの市町村長も報酬を削減しています。身を切るということとは、人に言われてすることではありません。コロナによって疲弊した市民のことを考えれば、自ら身を切

ろうと考えることが妥当だと思えます。市民は市長が報酬を削減したのなら、私たちももっと頑張ろうという気持ちになり、長い自粛の疲れも癒されます。

答 通常と違う対応だったために、心に寄り添っていないような印象を与えてしまったのかも知れません。今後もし児童・生徒一人一人の心に寄り添った指導をしていきます。

問 市長は報酬の一部を削減し、身を切り、その生み出した費用を少しでもコロナ対策に充てる考えがあるか伺います。

答 現段階では、考えていません。

問 本市は、小・中学校の子どもたちの物的支援は充実しているも、子どもたちに対する心の支援ができていません。他市の学校の先生方は、子どもたちを励ましたくて楽しいメッセージを届けています。それに比べ本市は、課題テキストを下駄箱に入れて、何のメッセージもありません。「頑張ろうね」の先生の一言が欲しいのです。たくさん物的支援が充実していても、本市には心の支援がないと思います。どのように考えているのか伺います。

答 本市は、5月から公民館等で次亜塩素酸水を配布しています。製品評価技術基盤機構（NITE）の報告によると、除菌効果はあるが、新型コロナウイルスに対しては有効性がないと結論が出ています。市民には、その事実を広報等で伝えるべきですが、今後また亜塩素酸水を配布するのかわかりません。

問 市場では依然、消毒液が不足していることから、不足が解消されるまでは、配布を行いたいと考えています。

答 市場では依然、消毒液が不足していることから、不足が解消されるまでは、配布を行いたいと考えています。



マイナポイントについて

茂木 光雄

問 マイナポイントの概要と、マイキーIDについて伺います。

答 マイナポイントとは、マイナンバーカードを取得し、カードでマイナポイントを予約した方を対象に、選択したキャッシュレス決済サービスで買い物に使えるポイントが国が付与する仕組みです。手続きについては、住民がマイナンバーカードを取得後に、パソコンやスマートフォンを利用してインターネットの専用サイトでカードのマイキーID、いわゆるアカウムの設定を行います。その後、マイナポイント申し込みページにログインし、利用するキャッシュレス決済サービスを選択し、申し込み、そこに2万円のチャージまたは買い物をする、1人当たり上限5000円分のマイナポイントがもらえます。本市では、本庁舎の相談室にマイキーID設定支援窓口を設置し、自身でI

D設定することが困難な市民に対して、設定支援を行っています。

納税対策について

問 スマホ納税の導入について伺います。

答 本市には、窓口納付、口座振替、コンビニ納付による納税手段があります。方法別割合は、口座振替が4割、コンビニ納付が2割、金融機関が3割、窓口での納付が1割となっています。昨年10月には、全国共通納税システムによる法人市民税と個人市県民税特別徴収分の電子納税を導入しましたが、今後は固定資産税や軽自動車税などの税目が増設されていく見込みで、事業所だけでなく個人の市税も利用できるようになりま

す。スマートフォンによる納税については、現在対応していませんが、納付方法の選択肢が増えることは、納税者にとって利便性の向上につながると認識しています。ヤフーアプリ納付やラ

インペイ、クレジット納付にかかる基本料、手数料等を検証し、導入する際の費用対効果、納税後の納税証明の在り方などを考察します。



災害対策基本法における市の対応について

野口 靖

問 市民へ避難指示をどのような手段で呼びかけているか伺います。

答 ふじおかほっとメールや市ホームページにより行うほか、消防団・市機動隊の広報車による伝達も行っています。

問 昨年の台風19号の時、

下久保ダムデータのや情報についてどのように確認し、状況を把握していたのか伺います。

答 下久保ダム管理所より発せられた情報や状況を把握してまいりました。また、異常洪水時防災操作（緊急放流）の可能性が伝達されてからは、直接電話で状況の把握を図ってまいりました。

問 当日の下久保ダムの上流からの流入は毎秒1840トンでした。同時刻での下久保ダムの放水量は毎秒800トン、ダムの貯水能力から算出すると、10月13日深夜1時10分に満水となり、緊急放流が実施されましたが、下流域の避難の呼びかけはどのような計画がされていたのか伺います。

答 操作実行の場合には、その3時間前に連絡が届くことになっており、避難情報の伝達はそれから対応することとしました。

問 今後は、ダム下流域の関係市町村と連携し、県境

を越えた災害対策組織の構築が必要と思いますが、考えを伺います。

答 鳥・神流川流域大規模氾濫に関する減災対策協議会の中で、今後は更に協議を重ね、日頃から防災に対する周知意識を高めるよう努めていきます。

藤岡市公共施設等総合管理計画について

問 公共施設総延べ床面積の25%削減目標に対する進捗状況を伺います。

答 令和元年度末時点では、0・26%の削減となっています。

問 今後は、公共施設の跡地を定住対策として活用する一貫した取り組みを行い、10年、20年先のまちづくりが重要と思いますが、考えを伺います。

答 若者や第2の人生を送る人々が本市を訪れていた人々が、まちづくりに取り組んでいきたいと思

引きこもり・8050問題について

橋本 新一

問 引きこもりの主な原因について伺います。

答 内閣府が行った生活状況に関する調査によれば、引きこもりのきっかけは、退職したこと、人間関係がうまくいかなかったこと、病気、職場になじめなかったこと、不登校などが挙げられています。本市においても、これらのことが引きこもりの主な原因であり、複数の原因が重なっている場合もあると考えています。

問 引きこもり・8050問題の支援にかかる、国が進めている生活困窮者自立相談支援事業と、ひきこもり対策推進事業について、事業の内容と本市の取り組みについて伺います。

答 生活困窮者自立相談支援事業については、藤岡市社会福祉協議会に委託して実施しています。就業等の経済的な問題だけでなく、

心身や家庭での問題のほか、引きこもりや社会的に孤立しているなど、様々な問題や不安を抱えている方に対して支援員が相談を受け、問題を解決するために必要な支援をしていくものです。さらに、コミュニティセンターやソーシャルワーカーを設置し、引きこもりの訪問支援を実施しています。

ひきこもり対策推進事業の一つ、ひきこもりサポート事業では、市町村が実施主体となっています。本市では、保健師や精神保健福祉士が回復途上の障がい者を対象として、調理実習、作業、スポーツ及びレクリエーションなどのグループ活動を通じて居場所の提供や社会参加に向けた活動への支援、参加者等からの相談対応を行っています。

さらに、関係法令の改正により制度の拡充が図られており、関係各課で協力して解決に向けて取り組んでいます。また、市が推進する生活支援体制整備事業の中で、支援者が高齢者宅を訪問した際に潜在的な引きこもりとなっている方を発

見し、地域での支援に結びつける仕組みも行っていきたいと考えています。



新型コロナウイルス感染症対策について

関口 茂樹

問 強い感染力や瞬く間に重症化する新型コロナウイルスは、今世紀に入ってきた最大の事件で、人々の日常を壊し、命と暮らしにこれほど大きな影響を与えたものはないと言われています。

本市をはじめ県下の各自治体は、それぞれ懸命に対策を打ち出しています。前

橋市議会では、コロナ対策財源に充てるよう議員の行政視察中止を決定し、さらに議員報酬の削減、そして市長らの特別職は給与を半年にわたり10%から30%削減する見込みであると、報じられています。本市も市長を先頭に身を切り、コロナ対策財源の確保に努めるべきと考えますが、市長の所見を伺います。

答 コロナ対策の予算については、誠心誠意その確保に努めていきます。

2050年ゼロカーボンシティの表明について

問 令和2年2月13日の議員説明会で、市長が2050年ゼロカーボンシティを表明しました。ゼロカーボンシティとは何か、またその実現性はあるのか伺います。

答 ゼロカーボンシティとは、2050年までに区域内の二酸化炭素の排出を実質ゼロにすることを指す旨を公表した地方自治体の

ことです。実現性については、現状では非常に高い目標ですが、できることから可能な限りの対策を講じ、目標に近づけるよう努力します。

問 本市は昨年、第3次藤岡市環境基本計画を策定し、温室効果ガスの排出量を今後10年間で14%削減するとしました。この割合では目標の半分にも届かず、温室効果ガス実質ゼロには遠く及ばないと考えますが、具体的な施策を伺います。

答 現在実施しているバイオマスや小水力発電事業化の検討等に加え、省エネ家電を買い替える際の補助制度の拡充等、先進的な自治体例を検討し、目標に近づきたいと考えています。



市議会を傍聴しませんか？

議会は、3・6・9・12月の定例会と随時に開催する臨時会があります。

◎本会議の傍聴

本会議は、一般の方に公開されており、いつでも傍聴することができます。事前の予約は必要ありません。

傍聴を希望する本会議の当日に、傍聴人受付（市役所2階 議会事務局前）で、受付簿に住所、氏名を記載し、番号札を持って入場します。

傍聴される方に議案集の貸し出しも行っています。

傍聴人の定員は58人です。

◎委員会の傍聴

委員会も本会議と同様の手続きで傍聴することができます。

傍聴を希望する委員会当日に議会事務局までお越しください。

日程については、市議会事務局にお問い合わせください。

また、藤岡市ホームページの「藤岡市議会」→「議会の情報：会議のお知らせ」にも開催予定日を掲載しています。

■9月定例会（予定）

※議事の都合により変更となる場合があります。

| 月 日 | 時 間 | 摘 要 |
|----------|-------|---------|
| 9月1日(火) | 10:00 | 本 会 議 |
| 9月2日(水) | 10:00 | 本 会 議 |
| 9月3日(木) | 10:00 | 常任委員会 |
| 9月4日(金) | 10:00 | 常任委員会 |
| 9月9日(水) | 10:00 | 一 般 質 問 |
| 9月10日(木) | 10:00 | 一 般 質 問 |
| 9月14日(月) | 10:00 | 決算特別委員会 |
| 9月15日(火) | 10:00 | 決算特別委員会 |
| 9月17日(木) | 10:00 | 本 会 議 |

問い合わせ ▶ 市議会事務局 ☎40-2377

議会中継をご覧ください

藤岡市議会では、市民に開かれた議会を目指し、インターネットによる録画配信を行っています。

藤岡市議会のホームページから、議会中継を見ることができます。現在、インターネットで配信されている映像は、今号掲載分までの一般質問の様子です。

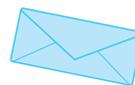
ぜひ、ご覧ください。

この議会だよりに掲載してある一般質問は、要約してあります。

詳しくは、藤岡市のホームページや市役所相談室、図書館で会議録（8月下旬公開予定）をご覧ください。

● 藤岡市議会ホームページ ●
<http://fujioka.gijiroku.com/>

ふじおかほっとメールから 議会の情報を発信します！



>>> 会議の日程などに関する情報を配信しています。ぜひご活用いただき、議会の傍聴にお越しください。

■登録を始める前に

ご使用になる携帯電話で迷惑メール対策をされている場合は、次の2点についてご確認/設定をお願いいたします。

- 「city.fujioka.gunma.jp」ドメインからのメール受信を許可する設定にしてください。
- URL付きメールの受信を許可する設定にしてください。

■登録はこちら

- パソコンで登録 → <https://service.sugumail.com/fujioka/member/>から
- スマホなどで登録 → 右QRコードから



編集後記

コロナ禍において医療機関をはじめ福祉、教育、保育に関係従事する方々に心より感謝申し上げます。

市では新型コロナウイルス感染症拡大を最小限に抑えられておりますが、第2波、第3波に備えた対策事業に伴う補正予算を6月定例会で承認致しました。

また、一般質問では10名の議員により活発な議論が行われました。これからも議会活動を分かりやすく伝えられるよう、紙面づくりに努めてまいりますので、よろしくお願致します。

議会だより編集委員会
 委員長 大久保 協
 副委員長 中澤 秀
 委員 関口 茂
 委員 小西 貴
 委員 窪田 隆
 委員 青木 行
 委員 隅田 徳
 委員 吉田 達
 委員 吉田 哉